

北薩地域 地域振興の取組方針〈改訂版〉

1 「北薩地域 地域振興の取組方針〈改訂版〉」の主な内容

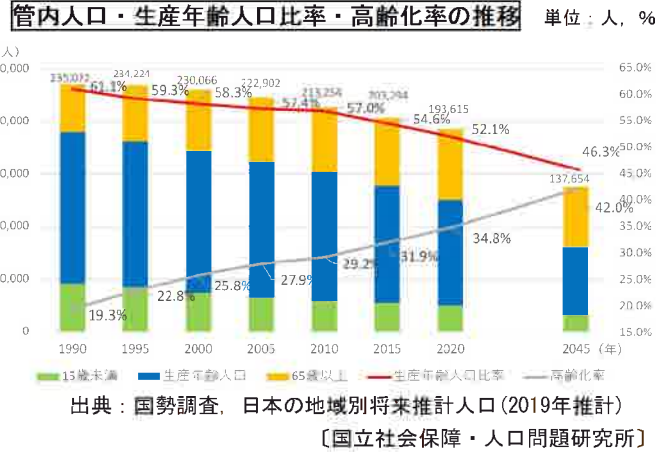
(1) 時代の潮流と北薩地域の現状・課題（第2章）

ア 人口減少・少子高齢化の進行と健康課題

北薩地域では、生産年齢人口の減少により、事業等のために必要な人材が確保できなくなり、生活を支えるサービスの供給や地域の経済活動の制約要因となるおそれがある。

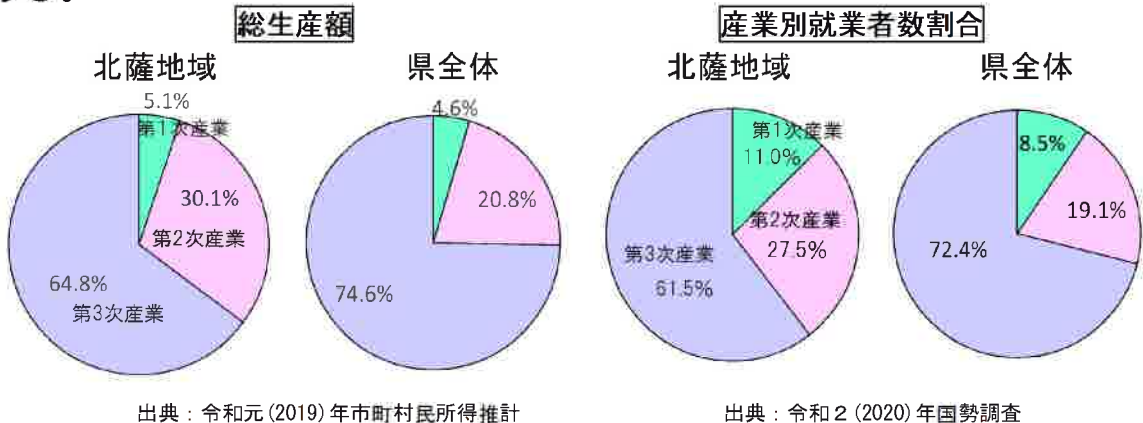
地域産業の振興を支える人材の育成・確保、農林水産業の振興、暮らしを支える生活機能・生活交通の確保などに取り組み、将来にわたって安心して暮らし続けることができるような仕組みづくりを進めていく必要がある。

また、健康寿命を延伸し、誰もが住み慣れた地域で心豊かに生涯を送れるように、健康づくりのための環境整備や生活習慣病への対応を進める必要がある。



イ 北薩地域の産業・経済の状況

(ア) 産業構造は第1次産業と第2次産業の割合が高く、製造業やエネルギー関連産業の従事者が多い。また、有効求人倍率は高い状況が続いているなど、人材不足・後継者不足が課題となっている。北薩地域の魅力ある資源（産業等）を生かしながら、経済の持続的発展，新規学卒者やU I Jターン者の地元就職及び外国人材の安定的な受入れを図る必要がある。



(イ) ばれいしょ，きんかん，大将季，紅甘夏，鹿児島黒牛等のかごしまブランド産品をはじめ，鶏卵・鶏肉，早掘りたけのこ，ブリ・マグロなどの生産が盛んで，豊富な食材をもとに豊かな食文化を育んでいる。また，民有林面積は大隅地域に次ぐ面積となっているほか，竹林は県内一の資

源量となっている。

一方で、就業者の減少、耕作放棄地の増加、再造林率の低迷、未活用竹林の増加、漁業生産量の減少、高病原性鳥インフルエンザの発生リスクなどの課題があり、人づくり等の強化や生産・加工体制の強化等を図る必要がある。

- (ウ) 日本遺産「薩摩の武士が生きた町」を構成する武家屋敷群、九州有数の河川である川内川、「太古の地球を感じる宝の島」をテーマとした甌島、東シナ海に面した風光明媚な海岸線、ラムサール条約湿地である出水ツルの越冬地、甌大橋などの豊富な観光資源を有しており、これらの認知度向上を図る必要がある。



- (エ) 北薩地域は、2つの停車駅を有する九州新幹線や肥薩おれんじ鉄道、本土と離島を結ぶフェリー等が運行されている。また、南九州西回り自動車道や北薩横断道路、川内港における国際物流ターミナルの整備が進められている。地域の活性化や産業及び観光の振興に寄与し、人やモノの交流を支えるこれらの交通ネットワークの維持・整備を着実に進める必要がある。

#### ウ グリーン社会・エネルギー問題への対応

- (ア) 2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に向けて、北薩地域に存在するバリエーション豊富な資源を活用した再生可能エネルギーの導入を促進する必要がある。
- (イ) 川内（火力）発電所跡地において、脱炭素化の推進による持続可能な社会の構築に向けた資源循環の拠点「サーキュラーパーク九州」の実現に向けた検討が進められている。また、竹林を活用した竹紙製造のほか、未活用の竹を原料とした畜産飼料や肥料製造といった取組も始まっている。今後、こうした循環経済の取組を促進していく必要がある。

#### エ 社会資本整備と防災・減災対策

- (ア) 地域間の交流・連携の強化、産業や観光の振興等のため、南九州西回り自動車道や北薩横断道路のミッシングリンクの解消を図る必要がある。また、重要港湾である川内港は、コンテナ船の大型化等に対応するため、港湾機能の強化等を図る必要がある。
- (イ) 地球温暖化に起因する異常気象やそれに伴う自然災害が顕著となっている。地域住民の安心・安全な生活を守るため、河川の改修等を計画的に実施していくとともに、「自助」「共助」「公助」による地域防災力の強化を図る必要がある。



## オ 教育・子育て環境の変化

教育については、全ての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと、協働的な学びを実現することが求められており、持続的で魅力ある学校教育が実施できるよう努めていく必要がある。

子育て環境については、働き方や暮らし方に合わせて、安心して子どもを育てられる環境づくりに地域全体で取り組む必要がある。

## (2) 取組の基本方向（第4章）

### ア 誰もが健康で活躍できる地域社会づくり

(ア) 障害者が生きがいを持って社会参加できるよう農福連携等による就労支援に取り組むほか、関係機関等と連携し求人開拓や企業への啓発活動を通じて、雇用環境の整備や雇用機会の確保を促進する。

(イ) 市町や職場、学校などの各種関係団体と連携して、地域住民の健康づくりを効果的・体系的に推進するための体制整備や生活習慣病の改善のための意識啓発など健康づくりを進める。

(ウ) 地域の診療所と連携しながら、ICTの活用やドクターヘリの運航などにより、離島・へき地医療の提供体制の整備・充実を図る。

(エ) 高齢者が健やかで安心して暮らせるよう、市町における介護予防や生活習慣病予防の取組、認知症の予防や早期対応の重要性、認知症の正しい理解の促進を図る。

### イ ポテンシャルのある北薩地域の「稼ぐ力」の向上

(ア) 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

a 地域の農業を支える人材を確保するため、農業労働力支援センターによる相談活動や、農福連携の推進、外国人材の円滑な受入れに向けた環境整備など、多様な人材の確保に向けた取組を推進する。

b そらまめ、実えんどう、ばれいしょ、きんかん、大将季、紅甘夏、マンゴーなどのかごしまブランド団体の認定・育成を通じた産地づくりと継続的な販売促進活動による一層の銘柄確立や収益性向上を支援する。



そらまめ



実えんどう



ばれいしょ



きんかん



大将季



紅甘夏



マンゴー

c サツマイモ基腐病のまん延を防止するとともに、豚熱や高病原性鳥インフルエンザに対応した侵入防止対策、牛伝染性リンパ腫の感染拡大防止対策を強化する。

d 全国トップレベルの子牛価格維持に努め、収益性の高い肉用牛経営の確立を目指す。

- e 路網開設や運搬機械の導入など，竹材の効率的な生産体制の整備を促進し，竹紙や飼料，セルロースナノファイバーなど竹材の有効活用を図る。



改良竹林（路網開設）

- f 養殖ブリ等の海外への輸出拡大に向けて，加工施設の整備などの取組を支援する。

(イ) 観光の「稼ぐ力」の向上

- a 北薩地域の認知度向上を図るため，地域の様々な情報について，インターネットやSNS等を活用して，PR動画等を含めた情報発信を行い，効果的かつ持続的なPRを展開する。

- b 肥薩おれんじ鉄道などを活用して，隣県熊本県も含む地域の観光資源の魅力をつなぐ周遊型観光ルートの形成など，観光客の周遊を促進する。



肥薩おれんじ鉄道

- c 地域の観光資源の発掘や磨き上げに努め，川内川を活用したボート，熊本県天草へ通じるサイクルツーリズム，甌島や獅子島で発掘された化石など地域資源を生かした体験活動を提供する取組を促進する。

- d 多彩な観光資源や新幹線等の交通の利便性を生かし，福岡県などの大都市圏や隣接する熊本県，西九州新幹線が開業した長崎県などからの戦略的な誘客の展開を図る。また，肥薩おれんじ鉄道を活用したサイクルトレインによる誘客も促進する。

- e 広域観光を進めるため，熊本県天草広域本部等と連携した広域観光周遊ルートのPR等を行う。

(ウ) 企業の「稼ぐ力」の向上

- a カーボンニュートラルへの対応など新たな事業展開に取り組む企業等に対し情報提供などの支援を行う。

- b 地域の強みを生かした積極的な企業誘致を推進する。また，市町と連携し，工場の新設・増設等に係る周辺環境等の整備に取り組む。

- c IOT・AIなどのデジタル技術の導入による生産工程の自動化，業務の改善・効率化の取組などへの支援を通じて，ものづくりの基盤強化を図る。



- d 北薩地域の特産品である竹製品や甲冑，薩摩切子，鶴田手漉和紙をはじめとする工芸品などの特産品について，情報誌等でその魅力を発信し，販路拡大を促進する。



竹細工



甲冑



薩摩切子



鶴田手漉和紙

## ウ 脱炭素社会の実現

- (ア) 自然環境に配慮しつつ，地域との共生を図りながら，水力発電，バイオマス発電，風力発電，太陽光発電，潮流発電などの再生可能エネルギーの導入を促進する。
- (イ) 資源循環の拠点「サーキュラーパーク九州」の実現に向けた取組及び川内港久見崎みらいゾーンでの循環経済に資する企業誘致の取組など，川内港臨海部における循環経済の拠点の創出を支援する。
- (ウ) ラムサール条約湿地の出水ツルの越冬地及び藺牟田池や自然公園など北薩地域の特色ある自然環境を生かした地域活性化の取組を促進する。

## エ 地域を支える人材の育成・確保，文化・スポーツの振興

- (ア) 地域における体験活動等を通して，郷土について学ぶことによって，郷土に誇りをもち，自然保護や環境保全の意識を高め，伝統や文化を尊重する子どもの育成に努める。
- (イ) 新規学卒者やその保護者等に対し，地元企業の魅力を発信する取組を推進するとともに，県外大学進学者等への北薩地域の企業の情報提供等によるUIターン希望者の地元就職を促進する。
- (ウ) 移住ガイドブックやSNS等を活用した情報発信，ニーズに即した相談対応の充実など，市町や関係団体等と連携して，県外からの移住・交流を促進する。
- (エ) 北薩地域の豊かな地域資源を生かしたワーケーションを推進することにより関係人口の創出・拡大を図る。
- (オ) 九州新幹線の2つの停車駅を有するなどのアクセスのしやすさ，充実した施設等を生かしたスポーツ合宿・キャンプ等の誘致活動を市町と連携して推進し，スポーツを通じた交流人口の拡大や地域活性化を図る。

## オ 誰もが安心して暮らせる地域社会づくり

- (ア) 河川の寄洲除去，砂防施設，治山施設や農業用ため池の整備，間伐などの森林整備，避難体制の整備など，ハード対策とソフト対策が一体となった災害の未然防止対策を推進する。

- (イ) 気候変動の影響や社会状況の変化などを踏まえ、あらゆる関係者が協働して流域全体で行う「流域治水」の取組を推進する。
- (ウ) 肥薩おれんじ鉄道について、事業者や沿線自治体、地域住民、熊本県などの多様な主体とより一層連携・協力して、利用者の増加につながる取組を行い、維持・存続を図る。
- (エ) 中山間地域等において、将来にわたって暮らし続けることができるよう、集落の枠組みを超え、広域的に支え合う仕組みづくりを促進する。また、買物弱者支援をはじめ生活サービス機能の集約・確保等を促進する。

## 2 改訂に向けたこれまでの取組等

取組	内容	年月日
地域懇談会（第1回）	北薩地域の現状等について意見交換	令和4年7月25日
〃（第2回）	取組方針（改訂版）素案に対する意見交換	10月20日
〃（書面）	取組方針（改訂版）案に対する意見照会	令和5年1月13日
局・市町の若手職員による研究会（第1回）	北薩地域の現状等について意見交換	令和4年8月17日
〃（第2回）	取組方針（改訂版）素案に対する意見交換	11月1日
〃（書面）	取組方針（改訂版）案に対する意見照会	令和5年1月13日
北薩地域人財確保・育成推進協議会	取組方針（改訂版）素案に対する意見交換	令和4年11月11日
市町との行政懇話会（第1回）	取組方針改訂の趣旨説明と協力依頼	令和4年5月27日
〃（第2回）	取組方針（改訂版）素案に対する意見聴取 ※第2回は各市町毎に開催	11月22日 ～12月19日
地元県議会議員との意見交換会（第1回）	北薩地域の現状等について意見交換	令和4年8月2日
〃（第2回）	取組方針（改訂版）案に対する意見交換	令和5年2月1日
管内市町に対する意見照会（1回目）	取組方針（改訂版）素案に対する意見照会	令和4年10月21日
（2回目）	取組方針（改訂版）案に対する意見照会	令和5年1月16日

- 地域懇談会は、各種業種や地域づくりなど様々な分野から委員を選出し、幅広く意見を聴取した。
- 局・市町の若手職員による研究会を開催し、若者の意見を聴取した。
- 市町との行政懇話会では、素案について首長と内容を共有するとともに、意見交換を行った。
- 取組方針（改訂版）の決定後、局ホームページへの掲載や地元5市町等の協力も得て、管内の県民等に広く周知を図る予定である。